

2026年1月4日 新年礼拝・降誕節第二主日礼拝説教 「新たに備えられる道」（Iペトロ1章22～25節）

○エレミヤ24章7節のみことば

「わたしは、わたしが主であることを知る心を彼らに与える。」

いまも、父なる神は、ただ十字架のゆえに、わたしたちにも同じ〈みことば〉を語り、〈まことの心〉を授けられる。

「わたしの律法を彼らの胸の中に授け、彼らの心にそれを記す。」(31章33節)

*わたしの律法：神が命じること、御心を指示するもの
御心を知るのも、みことばを心に刻むのも、人の力に依らず
みわざを起こす〈神の導きと憐れみ〉により開かされること。

※あなたの心に、生きて働く神の〈みわざ〉を待ち望め。

○Iペトロ1章22節のみことば

「真理を受け入れて、魂を清め、偽りのない兄弟愛を抱くようになった」

真理は「わたしは道であり、真理であり」(ヨハネ14:6) と言う
救い主イエスが〈あなた〉に与えた救いと命のうちにある。

☞キリストが備える道は、よみがえり、御国へと至るもの。

今日のみことば：Iペトロ1章23節

「神の変わることのない 生きた言葉によって 新たに生まれた」

*生きた言葉：聞いて信じる者に、みわざが現われる言葉

「朽ちない種」(23節) が、わたしたちの命にも蒔かれ、
神は、みことばに依り頼む〈あなた〉を生まれ変わらせた。

問：新たに生まれた人は、なにが違うのだろうか？

厳しさと怒りをもって背く者に近づく神が、新しくされた
あなたには、どこまでも恵み深き御方として向き合われる。

※もっと心から、さらに厚かましく、神の憐れみを求めよ。

「しかし、主の言葉は永遠に変わることがない。」(25節)

みことばが語る〈神の救い〉は決して揺るがず、みことばを
信じる〈わたしたちの命〉も、とこしえに支え続けられる。